

奥勸許すな「秘密保護法」

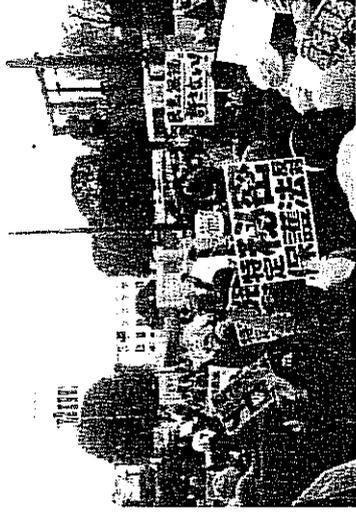
あきらめず撤廃目指して戦いを

日本共産党
流山深井投票会

二五ノ一スあすなる

13年12月15日
第178号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154-0526
(市内資料)

選挙公約にも無い「秘密保護法」を安倍内閣は「臨時国会」で突然提案し国会には連日危機感を抱いた国民が駆けつけ包囲する中、強引に強行採決を繰り返して成立させました。各界からの反対に安倍内閣は国会を通過すれば「いずれ国民は恐れる」と国民を威嚇しています。施行までには一年。「忘れるものか」として、集会、電話、ファックス、署名で声をあげ続けましょう。



12月6日の日比谷の集会には流山からも多くの人が参加。1万5千人の人が溢れ、国会にデモ。こうした国民の意思表示を自民石破幹事長は「テロと同じだ」と述べ、火に油。福島の公聴会は自民推薦も含めて賛成なし。その公聴会を

開いた翌日に強行採決。まさに問答無用。

議場は自共対決

国会の最終盤参議院本会議では民主、みんな、維新などは欠席。討論に立ったのは共産党と自民党だけでまさに自共対決。

共産党の仁比聡兵議員の国民の声を背負っての迫力の追及に対し、自民

12月議会 対決・対案 しめし 全力

11月28日、12月18日までの21日間、流山市議会が開かれ、日本共産党は、12年度が併設校と総合体育館の2大プロジェクトにより、市民サービスの大幅削減が危惧されるとして、市民の声を市政に届けるため、奮闘しています。

一般質問から

徳増きよ子議員 社会保障プログラム法案について、教育費の父母負担軽減についてなる項目。

小田桐たかし議員 12年度予算編成について、小中併設校や総合体

育館の建て替えの2大プロジェクトをどう教訓化し、今後にかすのかなど5点8項目。

いぬい伸一郎議員 秘密保護法(案)について「情報公開日本一」を掲げる市長の見解を問う。

など4項目で質問しました。

いづれもが、市民の生活に直結した市政の重要な課題を追及、見直しなどを求めた質問となっています。次号で議会で詳しい報告をする予定です。

植田和子議員は、委員会活動などで、全力で頑張っていますが、今回一般質問はしませんでした。

原発から撤退 だが今原発ゼロ!!

労は沖縄の農産物子氏。基地問題で石破氏の脅しに屈した沖縄自民の反国民的立場の象徴的姿。

問題点山積み みんなに知らせよう

多くの問題点が次のようにようやく浮かび上がってきたところ。みんなに知らせて反対を!

- ◆何が秘密かそれが秘密。
- ◆秘密の数は45件。チェックは結局官僚任せ。
- ◆秘密解除は60年後。例外とすれば永久に秘密に。
- ◆秘密を扱う人は徹底的に身辺調査、プライバシーを洗い出される。
- ◆違反で逮捕されてもその詳しい理由は公開されない!秘密保持。
- ◆弁護士も事実が分からなければ弁護も出来ない。
- ◆批判の声に急遽四つのチェック機関を作ることにしたが相互の関係は不明。しかもその第三者機関はなんと政府の下におくという。(こんなものを第三者とはいわない。)
- ◆役人だけでなく報道機関も企業も国会議員も秘密漏洩を罰せられる。
- ◆政府やNKKは米政府の不当な情報収集を告発したスノーデン氏を未だに「犯人」扱いし、「容疑者」と呼び続けている。まして昌国が起こたらどのように扱うかは

こんにちは 植田和子です

11月28日 11月19日 (水)、12月議会の議案説明会と全員協議会があり、一般会計補正予算案に、嬉しい項目を発見しました。東深井中学校に特別支援学級を開設するための改修工事費の予算が追加されていました。私が議員になって1ヶ月もたないうちに、市民の方から切実な相談を受けた経緯がありました。20日(水)は、市長と副市長との会派別懇談会がありました。江戸小の話を由ると、市長も副市長も、(何とかしないとけない)という姿勢にはなっているのがわかりました。年明けに、教育福祉委員会とトイレを見て学校訪問をするので、今度は委員会からも執行部に働き

かけをしてもらおうと思つてます。

11月26日 「議員定数についての意見交換会」では「議員を削減しろ」ばかりの意見ではなく「議員定数は現状維持のままがいい。削減は反対。アスキーが必要なのにその議員も減ってしまうのではありませんか」との発言に、保守の議員も多くの市民も拍手しました。選挙権のない高校3年生の男子も参加していました。

12月議会の植田和子の一般質問は、準備をする時間を確保できずお休みさせて頂きます。本当にすみません。3月議会は、早めに準備に取りかかって一般質問をしますので、またいろいろな意見を聞かせてください。

目に見えており、身震いする

◆秘密保護を徹底するためには、情報の全てを監視しない限り達成できない。だとすれば手紙や写真、印刷物だけでなく、電波もパソコンも携帯も監視されるのだ。子どもはスマホも当然だ。

様々な立場から

○改憲論者の小林節慶広大教授……「修正」を見て考えが変わった。権力は必ず腐敗する。チェックが必要だ。

○ノーベル賞の益川敏英氏……科学は情報を公開することで進歩する。むしろ人工頭脳に関する研究が米国の原子力潜水艦の探知に使えそうだとして秘密にした。

○マスコミからは……「秘密を報道しないマスコミなんて価値が無い」

○今だに原発情報は秘密だらけ、福島事故直後の放射性物質飛散情報は隠され、わざわざ高濃度の地域に避難させられた。

12月10日、南アフリカのネルソンマンデラ元大統領が亡くなった。人種差別という愚かな制度の撤廃のために、まさに生涯を捧げた巨星。他を貶め、自己利益を図る人というものの醜さの根本のような制度を拭き去り、人類の名誉を救った!彼を失ったことは、たとえもう無く悲しい。彼の死を悼んで世界の指導者が集った。その数は空前の規模だという。しかし彼の死を悼み、偉大な指導者と称えながら各首脳は彼から何を学んだのだろうか!彼はパルトヘイトという人種隔離政策に反対し、人種差別撤廃のために戦った。勝利して四半世紀の獄中生活から解放されても、それを誇るのではなく、大統領に選出されると自分達黒人を抑圧し、さげすんで虐げてきた白人たちにも、融和を呼びかけてともに政治を担わせた!彼は説いた「生まれるときから、肌の色や育ち、宗教で他人を憎む人などいない。人は憎むことを学ぶのだ。もし憎しみを学べるのなら、愛を教えることもできる。愛は、憎しみに比べ、よりの自然に人間の心へ届く」その精神に学び宗教対立や権力欲を超えて、世界政治に活かして欲しい。

